

第4回 紀の川市教育課程検証委員会

平成29年 2月16日

本庁舎4階402会議室

17:30～18:30

1 開 会

2 委員長あいさつ

委員の皆様遅くなり申し訳ありません。第4回紀の川市教育課程検証委員会にご出席いただき、ありがとうございます。

先日、事務局から本日の開催通知に同封して、会議資料として前回のワーキングでの検討事項を反映して修正した答申（案）が届けられたことと思います。

本日は、その修正（案）について最終確認をいただきまして、「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方についての答申」を完成させ、教育長からの諮問に対する教育課程検証委員会からの答申を行いたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議 事

（1）紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方についての答申（案）について

〈委員長〉 事務局から紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方についての答申（案）の説明をお願いします。

〈事務局〉 それでは、先日本お届けしました会議資料の「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について答申（案）」をご覧ください。

前回のワーキングでの検討事項を反映して修正した箇所を黄色で印をしています。順番に説明してまいりますので、ご確認いただき、説明後に一括してご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【修正箇所の説明】

以上で、「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について答申（案）」について、事務局からの説明を終わります。

〈委員長〉 ただいま、「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について答申（案）」について、事務局から説明を受けました。

それでは、委員の皆様からご意見があればいただきたいと思います。

〈委員A〉 16頁の上の棒グラフの番号が、⑤が②になっています。

〈事務局〉 ご指摘どおり⑤に修正させていただきます。

〈委員長〉 他にご意見ございませんか。

【特になし】

それでは、1箇所事務局で修正の対応をしていただき、少し休憩時間を取りまして、修正完了後に再開し、教育長に答申報告したいと思います。しばらく休息とさせていただきます。

〈事務局〉 その前に事務局から1件提案をさせていただきたいと思います。

検証委員会につきましては公開として議論をいただき、紀の川市のホームページに掲載し公開させていただきたいと考えています。

添付書類のアンケート調査の結果につきましては、第3回の検証委員会で「自由記述」の部分については、当初アンケートを実施した時には公開を前提に記述をしていないために、誤解を招くから「自由記述」を全て出すのは具合が悪いとなったと思います。それで、このアンケート結果については主な自由記述をまとめて記述しておりますので、それで公開させていただきたいと考えています。

それと第1回から第4回までの検証委員会とワーキングの会議要旨を公開させていただきたいと考えております。ただ、委員の発言については個人名を記述すると誤解を招くおそれもありますので、単に「委員」という形で発言も一言一句は難しいので要旨という形で委員がこのような発言をした内容で公開をさせていただきたいと思います。

それと発言中に出て来る個人委員名につきましても、前後の文脈から問題無ければ「委員」という表現に変えさせていただきたいので、その点をご了解いただきたいと思います。委員長からお諮りいただきたいと思います。

〈委員長〉 2点提案がございました。1点目は答申に付けます資料編のアンケートについてですが、自由記載の部分については公開することを前提としてアンケートを記入していただいているので、29頁や36頁の部分で意見という形でいくつか記載されていますが、自由記載について設問ごとの自由記載や全体を通しての自由記載は代表的なものをいくつか挙げる形で公表させていただきたいということですが、この点については如何でしょうか。よろしいでしょうか。では1点目はそういうことでございます。2点目は、公開が前提ですので議事録を公開することになりますが、その中で一言一句を再現する訳ではなく、要約という形で出すということ、更に誰の発言かについては各委員の名前を出すことはしない。委員の発言として固有名詞を出さずに議事録を公表するという提案ですが、それでよろしいでしょうか。よろしいでしょうか。では2点とも承認されたといたします。(委員長は委員長と記載することに同意する。)

〈事務局〉 それでは、少し休憩時間をいただきまして、準備が整いましてから教育長に入室いただきまして再開し、委員長から答申について説明いただきたいと思います。

【休 憩】

【教育長入室】

〈事務局〉 それでは、紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方についての諮問に対する紀の川市教育課程検証委員会の答申報告を委員長からお願いしたいと思います。

〈委員長〉 紀の川市教育課程検証委員会では、平成 28 年 6 月に設置されて以来、貴志教育長から諮問のありました「2 学期制の成果と課題および今後のあり方」と「長期休業期間の短縮の成果と課題および今後のあり方」について、答申いたします。

なお、本答申にあたりましては、4 回の委員会と 1 回のワーキングを開催し、慎重な審議を重ねてまいりました。答申の各章に記述しました「審議まとめ」を十分尊重し、紀の川市の今後の教育課程の編成に関する方針を決定されることを期待します。

〈事務局〉 教育長から、お礼の挨拶をお願いします。

〈教育長〉 今晚は。ただ今、委員長から紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について答申をいただきました。委員の皆様にはお忙しい中、4 回の委員会と 1 回のワーキングを開催していただき、慎重審議していただきました。本当にありがとうございました。今後、この答申に沿った形で進めていきたいと思います。次回の教育委員会定例会に報告し、総合教育会議にも諮り 30 年度には必ず実施できるようにしていきたいと考えております。委員の皆様には、今後とも紀の川市の教育行政にご協力賜りますようお願いいたします。お礼の挨拶といたします。ありがとうございました。

〈事務局〉 ありがとうございました。

今回の答申にご尽力いただきました委員の皆様と教育長が一堂に会する貴重な機会です。

しばらく懇談の時間を取らせていただきますので、ご自由にご懇談ください。

【委員と教育長の懇談】

〈事務局〉 それでは、懇談の時間を終了させていただきます。

事務局から事務連絡させていただきます。

本日報告いただきました答申につきましては、次回の教育委員会定例会に報告し、更に総合教育会議を開催して答申の内容を尊重した今後の紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について方向性を決定してまいりたいと思います。

事務局から事務連絡は以上であります。

以上をもちまして、第 4 回紀の川市教育課程検証委員会を閉会します。委員の皆様には本当にありがとうございました。